

豊庄だより



第 724 号 2022 年 9 月 20 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

立春から数えて210日目を「二百十日(にひゃくとおか)」といいます。今年9月1日でした。「二百十日」のころは台風の襲来期にあたり、古来風の厄日と言われてきました。夏目漱石の小説に『二百十日』という作品があります。『草枕』と同じ熊本を舞台にした作品です。二人の成年が阿蘇山に登る話ですが、「二百十日」の嵐に出くわし、二人は道に迷って散々な目に遭います。しかし、翌日二人は再度阿蘇山に挑むことを誓うという漱石の初期の小説です。中期、後期のドロドロとした作品に比べ、さわやかさを感じます。短編ですので、「二百十日」にちなんで、読んでみるのもいいでしょう。

話が「二百十日」から漱石の話になってしまいました。今号の話題は10月1日の運動会の開催についてです。3年目になるコロナ禍と



9月14日



9月16日

人知の及ばない台風という自然の力が果たしてどうなるか、とても心配しています。

今、保育園では、運動会の練習に熱が入っています。クラス別に順に園庭で練習をしていますが、その演技を他のクラスの子どもたちが食い入るように見えています。その姿を見てみると、こうしてとりくみが継承されていくのだなと感じます。本番まで約2週間、この頑張った成果を皆さんにぜひ観ていただきたいと思っています。

※上の写真は、ばら組のかけっこ。左の写真はこれだけ見てもよくわからないと思いますが、

ひまわり組の「遊戯」です。本番をお楽しみに。

☆右の写真が、何かわかりますか？イチョウです。保育園に生えていました。植えたのは私です。毎年、秋になると朝の会や誕生会でイチョウ、銀杏の話をしています。昨年、話した後、しばらく事務室前に実物を展示していましたが、もうそろそろいいかなとひきあげました。そして、銀杏の実を植えました。場所は正門横の植え込みのところでした。数個だったのですが、先月だったでしょうか、発芽しているのに気づきました。芽が出たのに驚きました。そして、9月の誕生会で話しました。しかし、困ったことにこのまま育てることができません。どなたか引き取ってくださる方、いらっしゃいませんか？苗は2本あります。1本は、まだ地面に植わったままです。

